



# 皆様から求められる 言語聴覚士になるために

～一般社団法人としてさらなる活動の飛躍を～

副会長 石塚 君予

## 会員数500名超の大規模組織 一般社団法人として新たなスタート

兵庫県言語聴覚士会は、2001年6月に有資格者の任意団体として発足しました。そして2014年2月には一般社団法人となり、社会的に責任ある団体として新たな思いでスタートいたしました。県内には言語聴覚士の養成校が大学を含めて5校あり、現在会員数も500名を超えています。

兵庫県は、人口約550万人、面積8346.47km<sup>2</sup>、北は日本海、南は瀬戸内海に面する縦に長い県です。県庁所在地である神戸市での活動が多くなりがちですが、地形の特徴も考え、できるだけ北や南の会員も参加できるように考えながら活動しています。

会の組織としては理事を中心に運営し、広報部、研修部、厚生部、職能部の下に委員会が具体的な活動を行っています。広い圏域を12ブロックに分けて、各ブロック内での勉強会を実施しています。



一般社団法人結成総会



兵庫県言語聴覚士会理事メンバー



「言葉のきずな」映画上映会

## 具体的な活動と連携、 一般の方々への働きかけ

当士会では、会員へ向けた活動として、全体研修、新人研修の充実、ブロック単位での勉強会、基礎講座やブロックでの症例発表を通しての生涯学習プログラムのポイント取得を促す、など会員の資質向上に努めています。

関連職種との連携では、兵庫県下の理学療法士会・作業療法士会と合同で訪問リハビリテーション研修会を開催しており、今後は地域包括ケアリーダーの育成に関わっていく予定です。また、兵庫県下の言語聴覚士のマップ作りも行う予定です。

当事者団体や家族への支援では、毎年11月に神戸で開催されます「ひょうご失語症者交流会」を支援しています。この会は兵庫県下の失語症友の会のメンバーが毎月集まっ



ひょうご失語症友の会交流会

て、イベントの内容を決めて実行していくもので、15年以上続いています。同様に兵庫県失語症家族の会の支援も行っており、6月29日(日)には、神戸市で映画「言葉のきずな」の上映会と午後からは参加者の交流会を行いました。当日は200名以上の参加があり、若い会員の参加も多く、日頃の臨床では見えなかった失語症の方の、退院後の姿を見ることができて、勉強になりましたという意見が聞かれました。

## 若い会員も安心できる 「顔の見える会」を目指して

会員親睦は、毎年総会後に親睦会を行い、年齢差を超えた楽しい時間を過ごしています。

兵庫県は比較的経験年数の長い会員も多いのですが、施設によっては経験年数の浅い言語聴覚士ばかりというところも増えてきました。臨床現場で困ったときに、若い会員が気軽に経験のある会員に質問できるような、顔の見える会になればと思っています。

会員数が多い分ネットワークが軽いとはいえませんが、若い会員の意見をどんどん取り入れて、この会を魅力のあるものとして、さらに会員数が増えるように取り組んでいきたいと考えています。今後とも、兵庫県言語聴覚士会へのご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。